

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スターバレット（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	令和7年4月21日		～	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和7年4月21日		～	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年4月21日		～	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2名	(回答数)	1名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	都度の訪問でその時々の子どもの様子や課題、そこに対する支援の方法を共有できている	保育園や幼稚園での姿、事業所での姿を共有し、それぞれで取り組んでいけることを話し合っている	定期的な訪問時はもちろん、可能であれば電話等でもやりとりをさせていただきながら子どもの様子をより丁寧に共有していく
2	保護者の意向や考えを支援内容にも組み込み、共有している	意向を丁寧に聞き取りし、実際の姿や様子との違いや、目指すものの為に必要な取り組みを保育園や幼稚園とも共有している	保育園や幼稚園で保護者からお聞きすることと、事業所でお聞きすることの内容が違うこともあるので、丁寧な情報共有と共に保護者へのアプローチの仕方も一緒に検討していく
3	訪問時の様子を職員間でも共有し、事業所内での取り組みにも反映させている	事業所内では見えてこない姿もあるので、訪問時の様子から保育園や幼稚園での集団生活へ繋げていくために必要なことを職員間でも話し合っている	実際の取り組みの成果や事業所での様子を保育園、幼稚園にも伝え、集団での子どもの様子に実際に繋がっているのかを確認していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問員が限られている	訪問する職員が限られている為、訪問先で実際にはどのようなやりとりをしているのか、自分がもし訪問となった際に何が必要となるのか分からない。	訪問時の子どもの様子だけでなく、先生とのやりとりやこちらがどのように携わっているのかも丁寧に伝えていく。 同行がかなうのであれば、訪問する機会を設けていく。
2	専門的な支援の視点に欠けている	お子様の特性や課題によって、より専門的な支援を望まれることがあるが、そこへ対応できる職員の配置が現状ではない。	同法人内の児童発達支援センターでは専門職も配置している為、職員同士の連携や支援の相談をより活発に行なっていく。
3	地域の部会や研修会への参加が少ない	限られた職員のみでの参加であったり、日中帯の支援の人員体制的に参加が難しいこともある	職員それぞれが研修に参加できるような機会を設け、地域の他の事業所や保育園、幼稚園の様子を知り、自己研鑽ができるようにしていく